

平成 30 年 1 月 9 日発行

キャリア・アップ NEWS 1 月号

《経営者・管理者が読むニュースレター》

明けましておめでとうございます。今年も、「人」と「組織」に着目しながらも、人材育成と組織の元気をお手伝いできればと思います。特に今年は「生産性向上」と「組織と人」にフォーカスする 1 年としてお届けしたいと思います。

★最後まで、お読みいただくと、今年度のお得情報を得ることができます。

「従業員満足度」が 企業におよぼす影響 !!

ある統計では、入社して 3 年以内に 1 名の正社員が退職すると、1000 万円以上のコスト損失になってしまうというデータがあることをご存じでしょうか?? それで、10 人になれば、単純計算で 1 億円のコスト損失につながります。では、どうすればよいのでしょうか??

少子化と高齢化の同時進行に伴う「労働力人口の減少」は今や深刻な問題です。経営層にとって重要なことは、限りある市場からいかに優秀な人材を獲得し、入社後のパフォーマンス（＝生産性）を高めてもらうことにあります。

その鍵を握るのが「従業員満足度 (Employee Satisfaction)」と言っても良いでしょう。

社員がワクワクしながら満足度高く働ける会社でないと、優秀な人材の確保は競合他社に遅れを取ってしまいかねません。 従業員満足度の低下＝経営上の機会損失といっても過言ではないのです。（従業員満足度とは? 待遇だけでなく、福利厚生・マネジメント・職場環境・仕事のやる気・モチベーション等）

●従業員満足度が高い場合

- 生産性：やらされ感がない／前向きな生産性改善・提案・チームのパフォーマンス向上
- CS：心のこもった対応による CS 向上／CS 向上による従業員満足度向上の相乗効果
- 人的資源：会社へのロイヤリティ向上／紹介採用の増加／優秀な人材の定着・成長

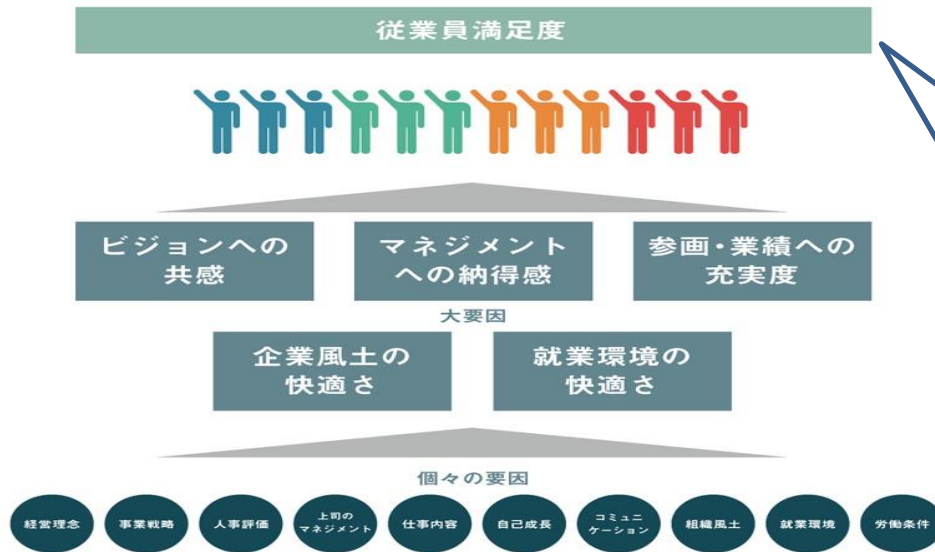
●従業員満足度が低い場合

- 生産性：やらされ感がある／生産性向上に踏み切れない・積極的に推進しない／必要なことだけやっている
- CS：心のこもった対応ができない／長期的に CS も低下する
- 人的資源：会社へのロイヤリティ低下／不満退職

★まずは、従業員の満足度を確認するには、弊社の「心のベクトル診断」（組織診断）をお試しいただくと、現在の従業員の満足度が「見える化」してきます。



「心のベクトル診断」(静岡大学との共同開発)で従業員満足度調査を !!



従業員満足度を構成する「5つの要素」です。これら5つの現状を「数値化・見える化」して、御社の状態を把握してみませんか？

※ご興味のある方は3ページ目の申込書に「無料 お試し診断」にご記入頂き、FAXにてご返信ください。尚、10名以上20名までの社員様にお答えいただく調査です。

業務改善士が教える「チームの生産性向上」その1

●生産性向上には「減らす」と「増やす」が必要

企業で取り組んでいる働き方改革や業務改善は、どうも「減らす」一辺倒に偏り過ぎている傾向があります。・作業時間を減らす・会議時間を減らす・残業時間を減らす・・・。

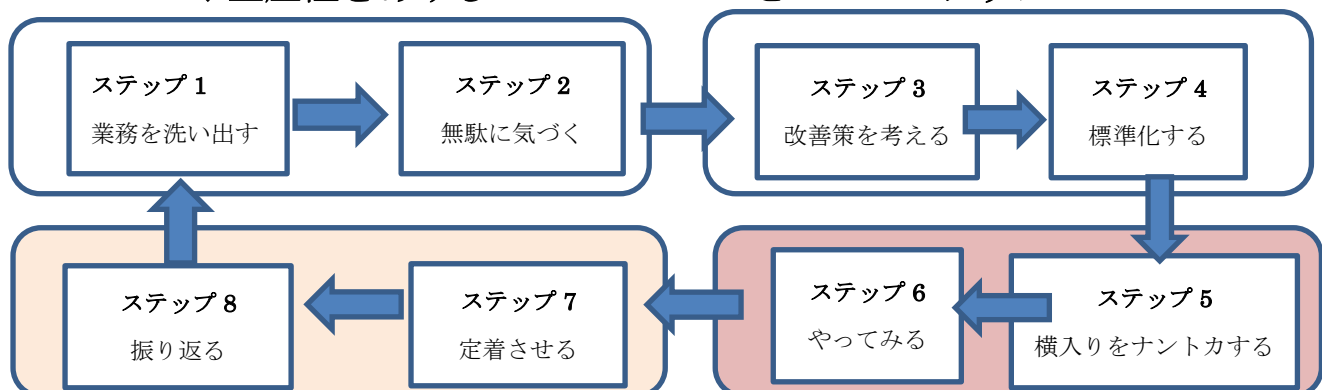
もちろんそれも大切ですが、「減らす」ことだけに集中すると新たな問題を抱えることになります。

- ・コミュニケーションがなくなり、雰囲気がギスギスしてきた
- ・仕事を終えた後の振り返りをしなくなり、学びが減った
- ・常に時間に追われて、言いたい事も言えなくなった
- ・「やらされ感」が増した
- ・仕事が雑になって、手戻りやクレームが増えた・・・等々

[働き方改革]ムードが蔓延するなか、私達はどうしても減らすことばかりに意識が向きがちです。しかし、減らすだけでは生産性はあがりません。実は、ここに大きな落とし穴があるのです。

●その秘訣→ ネガティブな仕事を減らして、ポジティブな仕事を増やす!! ことにあります。

◆生産性をあげる4つのフェーズと8つのステップ



□配信停止 (FAX :)
 □メール配信切り換え (メールアドレス)
 ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。

これらは、改善と生産性向上のための切り口集となります。したがって、8つのすべてをキレイになぞる必要はありません。まずは、自分の組織が今どこのフェーズにあるのか、現在地を確認してみましょう。そして、8つのステップのどこが足りていないか、どこでつまづいているかを考えてみましょう。

★既に現状把握できていて、問題点は洗い出せている。とにかく早く時短の成果を出したいのであれば、ステップ4からやってみること。

★何がムダかよくわからない場合は、ステップ2からやってみること。

★改善策の定着がうまくいかず困っている場合には、ステップ7を試してみることに。

このようにして、あなたの職場の悩みに合うもの、足りないものを積み食いしてみてください。

参考：著 沢渡あまね 「チームの生産性をあげる」より

お得情報

弊社は、**生産性向上支援訓練の支援機関です!!**

●生産性向上人材育成支援センターとは？

平成 29 年 4 月、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 生産性向上人材支援センター が運営する中小企業等の生産性向上に向けた人材育成を支援することを目的とした機関です。弊社では、この支援センターの具体的支援をす

- ◆定員 10名～30名まで
- ◆訓練時間 12時間～30時間
- ◆受講料 訓練時間に応じて 1人あたり5千円～6千円(税別)

新入社員・若手社員対象のおすすめコース (例)

業務効率のための時間管理
2日間コース

+

事故をなくす安全衛生活動
3日間コース

受講料 5,000円(税別)

+

6,000円(税別) → 1名あたり 11,000円(税別)

中堅層・管理者対象のおすすめコース (例)

品質管理とは? QC7つ道具を使っ
て課題解決
2日間コース

+

組織力強化のための管理
3日間コース

受講料 5,000円(税別)

+

6,000円(税別) → 1名あたり 11,000円(税別)

◇にレ点を ◇心のベクトル診断(組織診断) 無料お試しコース ◇生産性向上訓練に興味がある (資料請求)

会社名	ご住所
TEL	FAX
お役職 ご担当名	メールアドレス

□配信停止 (FAX :

□メール配信切り換え (メールアドレス

)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。